

技術力を得て新たなステージへ。
信州のものづくり企業の躍進



業種 製造業

ゴトー電機 株式会社 (伊那市)

昭和43年創業。橋梁などの錆や塗装、ステッカーなどを剥離させ、プラスト面を形成する工具の開発・製造・販売を行う。2023年6月に独自に開発し発売を開始した「Blastriker」(プラストライカー)は、従来のプラスト工法に比べ、工事費のおよそ30%の圧縮を可能にした。

リサーチ・フェロー のミッション

新商品の企画開発。
経営分析や商品戦略を踏まえた、新製品の企画、設計、製造。

取り組み

昭和43年創業のゴトー電機では新しい製品の開発をどう進めていくかが課題でした。リサーチフェローには企業経営の現状や商品開発戦略の構想から、新商品の開発準備を行いました。

成果

現場での企業分析や商品戦略の構想過程で、大学で様々な視点を取り入れました。既存の製品の課題を払拭する新製品開発に向けた土台を築き、プログラム修了後の成功へとつなげました。

業務委託契約でゴトー電機の製品開発を担当。専務の片腕として技術部門のコーディネート全般を担っています。



修了時～現在までの取り組み

「プラストライカー」の開発・製造に見事成功し、2023年6月販売にこぎつけました。公共の橋などの塗装の耐久性を保つために、鋼材面を適切な状態にする工具。製造しやすく捨てやすい、シンプルなデザインを追求し、割高な国内生産でも利益が出せるコストバランスを実現。発売直後から各取引先に大好評です。



未来へのシナリオ

ゴトー電機は本プログラムで理想的な人材に出会い、また大学との連携を通じ広い視野を得て、企業の課題分析や製品開発に取り組みました。そしてプログラム修了から数年を経て、新商品のローンチを実現しました。

今後はプログラムで得た経験を活かし、人材を大切に、技術力を高めながら、海外へも市場を拡大する予定です。地方企業、工事現場における人材不足など、業界を取り巻く環境

は厳しい状況です。その中でも、製品開発へ挑戦し、社会インフラの側面からサステナブルな社会の実現へ貢献することが、ゴトー電機の目指す未来シナリオです。



FILE.
08

ゴトー電機 株式会社
専務 後藤 陽太郎さん

リサーチ・フェロー
(客員研究員)
こうじ 山崎 晃資さん

